

## 災害時避難所への自家発電システムの導入について

地震や津波などの災害時の避難所として指定されている体育館のうち、萩間小学校、坂部小学校、勝間田小学校の体育館に、ハイブリッド型自家発電装置「エネブリッド」を導入しました。

「エネブリッド」は、LPガスとガソリンにより動作可能な発電機で、稼働時間は学校に常備されているLPガス 50 リットルボンベ満タンの状態で約 33 時間、最大出力は5.0キロワットとなっています。

体育館の雨水利用システムや照明などと接続される一方、ハンドルとタイヤが装備され、簡単に移動することもできます。

導入に伴いまして、次のとおり発電機の操作方法習得及び動作確認などを目的とした「自家発電システム操作説明会」を行います。

### 1 日時・場所

#### (1) 坂部小学校体育館

平成 27 年 2 月 23 日（月） 午後 3 時 00 分から午後 4 時 00 分まで

#### (2) 勝間田小学校体育館

平成 27 年 2 月 24 日（火） 午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

#### (3) 萩間小学校体育館

平成 27 年 3 月 3 日（火） 午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

### 2 出席予定者

各区区長又は防災委員長、各小学校教諭（校長、教頭他）、市職員、自家発電システム関係企業 他。

### 3 内 容

- ・発電機の収納場所、部位説明
- ・発電機の配線方法
- ・商用電源から発電機電源への切り替え方法
- ・分電盤操作、動作確認
- ・片付け、収納の方法

### 4 自家発電システム概要

- ・ハイブリッド型自家発電装置「エネブリッド」3基
- ・大きさ：幅 81.5cm × 奥行き 62.0cm × 高さ 69.0cm 重さ：97kg
- ・事業費 5,616,000 円（国の都市防災事業交付金を活用＜対象事業費の 1 / 2 >）
- ・「エネブリッド」の行政施設への導入は、静岡県内で初めてです。
- ・静岡県が中小企業の開発した新商品を推奨する「トライアル発注推進事業」の平成 25 年度選定品。